

みずほCustomer Desk Report 2017/02/13号(As of 2017/02/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.74 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.45	1.0656	120.89	1.0017	1.2495	0.7623
SYD-NY High	113.85	1.0667	121.34	1.0062	1.2522	0.7689
SYD-NY Low	112.85	1.0608	120.24	1.0011	1.2440	0.7618
NY 5:00 PM	113.19	1.0643	120.49	1.0023	1.2485	0.7678
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.435/11.885		Δ25RR	0.388	Yen Call Over	
NY DOW	20,269.37	96.97	債券市場			
NASDAQ	5,734.13	18.95	日本2年債	-0.2070	▲1.6bp	
S&P	2,316.10	8.23	日本10年債	0.0920	▲0.7bp	
日経平均	19,378.93	471.26	米国2年債	1.1895	1.2bp	
TOPIX	1,546.56	33.01	米国5年債	1.8865	2.0bp	
シカゴ日経先物	19,360	175.00	米国10年債	2.4073	1.3bp	
ロンドンFT	7,258.75	29.25	独10年債	0.3200	0.8bp	
DAX	11,666.97	24.11	英10年債	1.2560	1.0bp	
ハンセン指数	23,574.98	49.84	豪10年債	2.6960	5.4bp	
上海総合	3,196.70	13.52	為替市況	USD/CNH	6.8634	▲0.0003
USDJPY 3M Vol	12.33	▲0.08%	ドルインデックス	100.80	0.15	
USDJPY 6M Vol	11.81	0.01%	商品市況	CRB指数	194.038	1.28
EURJPY 3M Vol	13.55	▲0.20%	NY金	1,235.90	▲0.90	
EURJPY 6M Vol	12.76	▲0.10%	WTI	53.86	0.86	
			Dubai Spot	54.46	0.51	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月10日	8:50	日 企業物価指数(前月比/前年比)	1月 0.6%/0.5%	0.2%/0.0%
	9:30	豪 RBA声明文	2月 -	-
	12:23	中 貿易収支	1月 \$51.35B	\$48.50B
2月11日	12:23	輸出/輸入(前年比)	1月 7.9%/16.7%	3.2%/10.0%
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 1.1%/4.3%	0.2%/3.2%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	12月 2.1%/4.0%	0.5%/1.7%
2月11日	0:00	米 シンガン大学消費者マインド-速報値	2月 95.7	98.0
	-	米 日米首脳会談	-	-

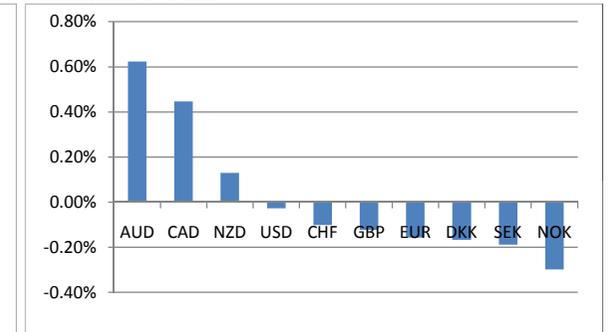
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月13日	8:50	日 GDP(年率/前期比)	4Q 1.1%	1.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.50	1.0550-1.0650	120.00-122.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日海外時間のドル円相場は113円台中盤でのみ合いの様相。注目された安倍首相とトランプ大統領による日米首脳会談が行われ、共同記者会見が開かれた。為替問題については、通貨安誘導を阻止することが「貿易で公平に競争できる唯一の道だ」とトランプ大統領が発言するも、具体的な議論には触れられず、日本による対米投資の表明もなかったため、大きな値動きは見られなかった。日米首脳会談は大きなサプライズもなく消化したが、トランプ大統領は法人税改革の「驚くべき発表」を2-3週間以内に行うと発言し、米株式市場の主要株価指数が再び最高値を更新する環境下、今週はイエレン議長による半期に一度の議会証言が予定されており、イエレン議長が3月のFOMCに向けて米早期利上げへの前向きな考えを示すようであれば、このところ上値が重かったドル円相場も一段の円安を試す可能性があるだろう。

東京	東京時間のドル円は113.28レベルでオープン、前日海外時間のドル高の流れを引き継ぎ、ややBID地合で始まると仲値にかけて113円台後半まで上昇。日経平均株価が300円超上昇して寄り付き、さらに上げ幅を拡大したことなどもサポート材料となり、一時東京時間高値113.80を付けた。午後に入り、中国1月貿易統計が発表され、輸出/輸入ともに市場予想を大きく上回る結果となり、貿易収支も予想を上回る黒字額となったものの、マーケットへの影響は限定的。その後はこの日の海外時間にトランプ大統領と安倍首相の会談を控えていることから動きづらい展開となり、113.70近辺で横ばい推移が続いた後、113.77レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.77レベルでオープン、盤盛は米株先物が史上最高値を更新する中、ドル円も113.85まで値を上げるも、日米首脳会談を控えて徐々に上値が抑えられる展開となり、113.56レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2502レベルでオープン、英日用品メーカーが米食品メーカーを約167億ドルで買収することで合意したとの報道を背景に、ポンド売り期待が強まり1.2466まで下落。しかしその後、英12月鉱工業生産指数が市場予想を大幅に上回ると1.2520まで買い戻される。ロンドンフィクシング近辺では再び1.2441まで下落した後、1.2459レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.56レベルでオープン。オープン後一時113.74まで上昇する場面が見られたものの、発表された米2月シンガン大学消費者マインドが予想を下回ったことや、米政府から「トランプ大統領の税制改革は数週間(in few weeks)で公表する」とのヘッドラインを受けて、前日トランプ氏が発言した「2-3週間後(in two-three weeks)より遅れるかもしれない」との思惑からドル円は113.05まで下落。しかし、不確定要素の多い発表であったことや、日米首脳会談を控えていたことから、113円半ばまで値を戻した。NY時間午後1時から行われた日米首脳会談後の記者会見では、移民政策や安全保障の話が主となったが、質疑応答でトランプ氏が「中国の通貨切り下げについては長い間不満を表明してきた」と発言したことを受けて、リスク回避の買いが強まりドル円は一時112.85まで急落。しかし特段目新しい材料ではなく、米株も堅調に推移していたことなどから、ドル円は113.50付近まで値を戻し、113.19レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.0627レベルでNYオープン。米金利上昇を受けて一時1.0608まで下落したが、1.0600手前ではユーロ買い意欲も強く1.06台半ばまで買い戻され、1.0643レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。